

6月度座談会

四条金吾殿御返事

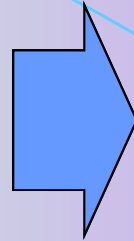
* * 地区

背景と大意

- 弘安2年 58才 在・身延
- 対告衆：四条金吾
- 別名：法華經兵法事 剣形書
- 金吾は同僚から迫害・攻撃される
- 信心根本で必ず障魔に勝つ
- 勇気の信心で勝ち抜けよ

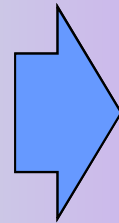
法華經の兵法

人生は闘争



勝か負けか

法華經の兵法

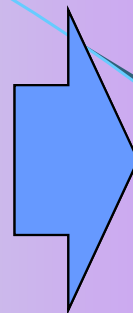


信心根本に
戦い勝利

諸余の怨敵は皆悉く摧滅せり
あらゆる障魔を打ち破る

此の妙法より出でたり

兵法剣形の真髄も
この**妙法**から出た



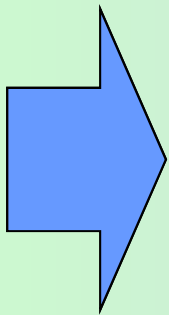
人間の力を
引出す**妙法**

妙法は**宇宙・生命**の根本
生命と妙法の連動が**偉大な力**に

大確信で迫害・苦難に**勝て**

臆病にては叶うべからず

深く信心をとり給へ



最大の敵は**心中の臆病**
生命の力を解き放て

心中の臆病に勝ち
法華經の兵法で現実に勝利

指導から

- 師と同じ祈り、同じ心で立ち上れ
- 仏法に行き詰まりはない
- 信心こそ絶対勝利のための無敵の兵法である

絶対勝利の執念の祈り

師弟不二の確信で勝ち進め